

兵庫県立山崎高等学校 令和7年度 学校評価報告書

学校教育目標 (スクール・ミッション)				重点目標				
「希望・英知・敬愛」の理念のもと、豊かな知識をもち、多様な価値観を理解する心を備え、命と人権を大切に、地域や国際社会に貢献できる人材を育成する。				(1) 主体的に学習に取り組む姿勢を育み、進路目標に応じた学習の充実により、学力向上をめざす。 (2) 互いを尊重する思いやりの精神とともに、自他の命や人権を大切にする心を育む。 (3) キャリア教育を通して、学ぶ意義や将来の目標を見出し、キャリアプランニング能力を育むとともに、自立した社会人に必要な能力を培う。 (4) 地域と連携した活動により、ふるさと意識を育むとともに、人々との絆を深め、社会の一員としての自覚を高める。 (5) グローバル化の進展に対応して、語学力やコミュニケーション能力を高めるとともに、主体性や創造性、チャレンジ精神をもって行動する力を育む。 (6) 災害から得た教訓を生かし、助け合いの精神やボランティア精神を育むとともに、山崎断層帯に位置する学校として防災教育を推進し、災害への対応力を高める。 (7) 「ノー部活デー」、「ノー会議デー」、「定時退勤日」を完全実施し、勤務時間の適正化に努める。				
教育方針 (グラデュエーション・ポリシー)								
(1) 自らの可能性を信じ、困難や逆境に立ち向かい夢を叶える生徒を育成する。 (2) 寛容な心をもち、自他の命や生き方を大切にする生徒を育成する。 (3) ふるさとに学び、ふるさとを愛し、地域社会に貢献する生徒を育成する。 (4) 伝統と文化を尊重し、多様な価値観をもち国際社会に貢献する生徒を育成する。								
令和7年度 学校評価項目		評価の平均			令和7年度の平均		令和6年度の平均	
4 そう思う 3 どちらかかといえそう思う 2 どちらかかといえそう思わない 1 そう思わない		生徒	保護者	教職員	令和7年度の平均	令和6年度の平均	結果分析	
学校運営	開かれた学校づくり	各種の通信やホームページ、オープンハイスクール等により生徒・保護者・地域に情報を発信している。	3.33	3.05	3.49	3.29	3.27	・本校ホームページのブログ欄を積極的に更新し、生徒の取組等を逐一情報発信した。また「山高タイムズ」(学校通信)や山高DIARYを定期的に継続して発行し、兵庫県内の関係団体や地元自治会、通学でお世話になっている神姫バス等へ配付し、情報発信に努めている。これらの広報活動の取組は、生徒・教職員には広く伝わっていると考えられる一方、保護者への周知は、評価の平均からやや弱い部分があるとみられる。保護者をはじめ、学校関係者の意見を学校改善に生かす点も、課題として残る部分がある。 ・家庭連絡用の広報物(各種プリントなど)が、生徒から保護者へ渡っていないことも予想されるので、各担当が生徒へプリントを保護者に渡す指示を徹底し、確実に手渡されるように工夫する。さらに、情報発信の手段として活用している学校ホームページを、保護者に閲覧していただくように学校として働きかけていく。
	連携携内	各学校行事の反省を整理し、課題を共有して工夫・改善に取り組んでいる。	3.14	2.93	3.00	3.02	3.14	
	生徒指導	教職員が生徒指導の方針・目標を理解し、組織的な生徒指導を展開している。	3.15	2.85	2.69	2.90	3.09	
	生徒指導	個人面談、家庭との連携を密にすることで、生徒の内面理解に基づく生徒指導を実践している。	3.02	2.87	3.08	2.99	2.98	
	生徒指導	ホームルーム活動や生徒会活動を活性化することで、生徒相互の良好な人間関係を築いている。	3.23	2.94	3.18	3.12	3.20	
	生徒指導	本校いじめ防止基本方針に基づき、いじめに対して組織的に取り組み、未然防止や早期発見を図っている。	3.05	2.76	3.18	3.00	3.00	
	進路指導	進路指導部と学年・教科が連携し、進路実現に向けて計画的・組織的な指導を展開している。	3.27	2.90	3.15	3.11	3.17	
	進路指導	就職・進学に関するガイダンスを充実し、進路意識や進路実現への意欲を高めている。	3.29	2.78	3.31	3.13	3.22	
	進路指導	企業見学・インターンシップやオープンキャンパスにより進路動機や勤労観・職業観を醸成している。	3.36	2.90	3.46	3.24	3.24	
	進路指導	進路希望調査をもとに、生徒個々の希望進路に応じたガイダンスを実施し、進路実現のために何をすべきかを考えさせた。 ・森と食科では、第2学年を対象にインターンシップを実施し、地域の企業で農業分野に関連する作業を体験することで、勤労観や職業観を身につけることができた。 ・進学希望者に対し、積極的に補習を受講させ、学力向上に向けた取組を継続して行い、生徒の進路実現に結びつけた。	3.27	2.90	3.15	3.11	3.17	
学校運営	教員の資質向上	研究授業や授業公開、生徒による授業評価を実施して教科指導力の向上に努めている。	3.04	2.56	2.74	2.78	2.91	・年度当初に探究的な学びについての教員研修を実施し、教科における探究的な学びを実現する授業づくりや、生成AIの活用といった内容の研修を行うことで、以下を達成する。 ①教科と総合的な探究の時間の探究的な学びの相違点を理解した授業実践を実施する。 ②各教科での実践事例と総合的な探究の時間での指導に系統性を持たせる。 ③生成AIを利用した創造的な学びを体験することで、自身の授業への活用例を考える。
	教員の資質向上	主体的に研修会に参加するなど、課題意識をもって自己研鑽に努めている。	3.21	2.77	2.77	2.92	3.07	
教育課程	個に応じた学習指導	生徒の興味・関心・進路目標に配慮した選択科目や類型を設定し、各科の特色化を図っている。	3.31	2.85	2.95	3.04	3.16	・生徒の実態に応じた教育課程を準備し、各類型や選択科目の充実を図っている。 ・BYOBが定着し、各科目の授業において、ICT機器を多用した授業実践が繰り広げられており、生徒及び教師のICT機器の活用スキルが向上している。 ・森と食科では、実習や演習を充実させ、国有林など関連施設での研修や、専門家を講師として招聘し、特色ある授業展開を行った。
	意欲の喚起	授業を工夫し、基礎・基本の定着と学習意欲の伸長を図っている。	3.19	2.69	3.21	3.03	3.03	
	自ら学ぶ力育成	体験的・問題解決的な学習の展開を通して、自ら考え、判断し、行動する力を育成している。	3.19	2.66	2.87	2.91	3.07	
課題教育	活動外	部活動の充実を通して、技能の向上とともに健やかな体・豊かな心の育成に努めている。	3.33	2.98	3.10	3.14	3.25	・生徒自らが主体的に部活動に励むことで、各部活動において県大会出場など好成績を収めている。 ・ノー部活動デーの実施など、生徒や教職員にゆとりを持って活動ができていく。 ・実際に体験している職員・生徒の評価は得られている。その実践内容を保護者に伝えるために、通信やホームページでの広報活動を強化する。 ・生徒集会等において、SNSにおける個人情報の取扱いや情報管理について説明するとともに、教員研修においても、情報セキュリティ実施手順に従い、校内のセキュリティ対策を点検した。 ・人権ホームルームでの学習や、人権映画「夜明けのすべて」を鑑賞し、人権意識を高め仲間同士わかり合う意識の向上に努めた。 ・防災体験活動を通して、避難所設営やそれらに関連する作業等から、災害時におけるボランティア活動を実践するとともに、体験活動の意義を学んだ。
	防災教育	防災・安全教育を充実し、職員・生徒の危機意識を高め危機管理の実践力・組織力を高めている。	3.42	2.96	3.46	3.28	3.28	
	情報教育	個人情報の取り扱いや情報発信が社会に与える影響を理解し、情報モラルに関する意識を高めている。	3.32	2.96	3.08	3.12	3.23	
	人権教育	各教育活動を通して、互いの人権や命を大切にすることを心と態度を育てている。	3.29	2.85	3.21	3.12	3.17	
	活動体験	ボランティア等の体験活動を充実して、自己有用感や豊かな人間性・社会性を育てている。	3.19	2.88	3.05	3.04	3.16	

学校関係者評価(学校評議員の意見)

- ・開かれた学校づくりの取組として、山高タイムズを届けていただいているので、生徒の様々な活動内容がとてわかりました。
- ・園児との交流を通して、保育・幼児教育の楽しさを経験して関心がより深まり、保育教諭を目指す生徒が増えることに期待しています。
- ・多様な生徒がいる中で進路指導も成果を上げている。
- ・若者フォーラムで生徒が語ったり式典に参加し、地域社会で山崎高校生が活躍している。地元で山高生が社会に関わりながら生活をしていると応援したくなる。
- ・生徒は課外活動に対して高評価であり、学校運営が生徒に浸透しているのではないかとと思われる。